

アジア発のデザイン理論の構築と実践に向けた基礎研究

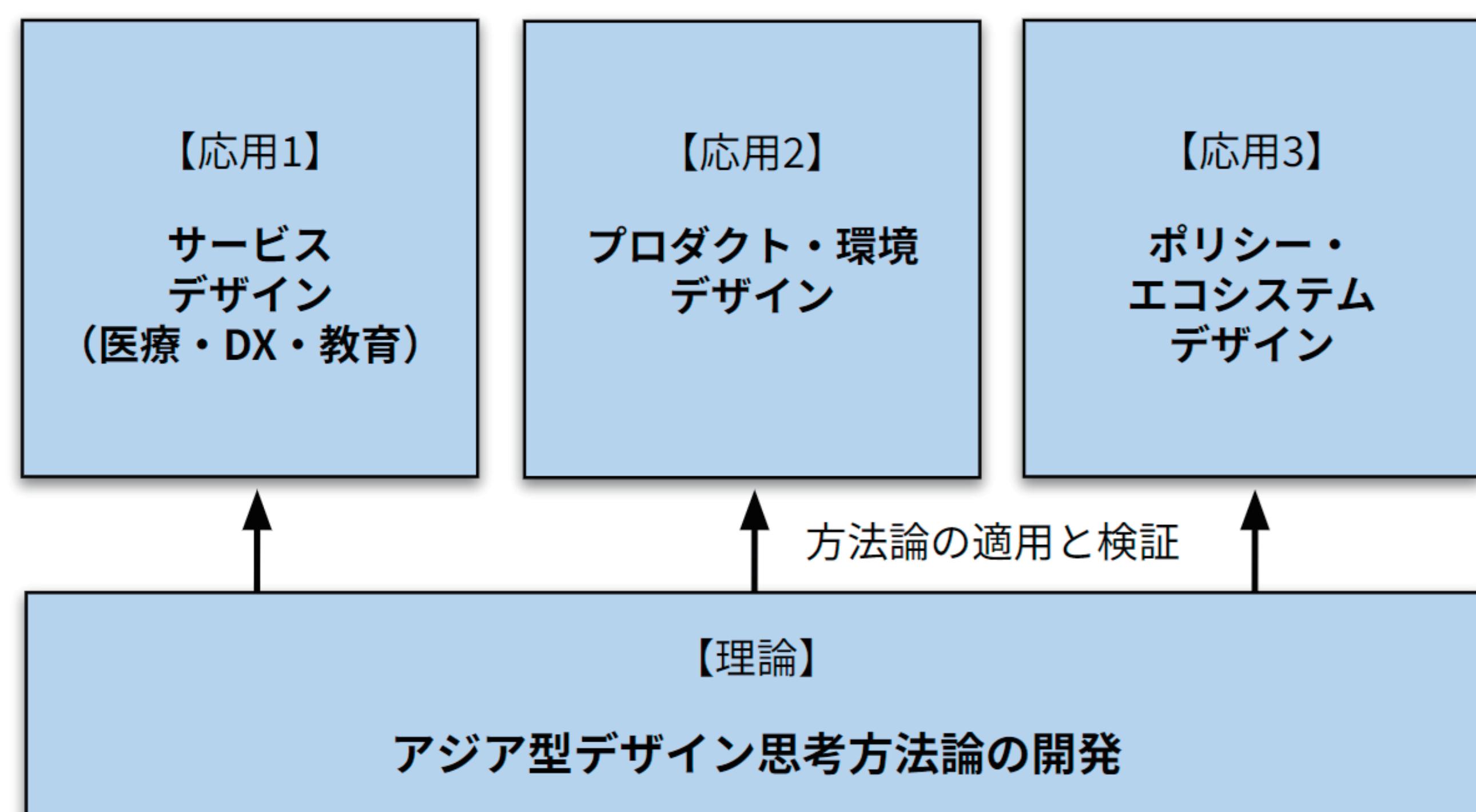
研究推進機構 総合研究院 共創型デザインイノベーション研究部門

▶ 研究概要

本研究部門は、アジア発のデザイン思考方法論を本学から生み出し、領域横断的な「やっかいな問題」の解決に向けた理論の適用とその検証をおこなうことを目的とした研究部門です。

本研究部門の活動には、以下のような特徴と目標があります：

- ・ アジア特有の視点と文化を取り入れた、独自のデザイン思考方法論の開発
- ・ 工学と社会科学の融合アプローチによる研究推進
- ・ アジア地域の国際研究拠点との連携強化
- ・ 「アジア発のデザイン思考方法論」の構築と、その成果の世界への発信
- ・ 企業や自治体が直面する「やっかいな問題」に取り組む産学連携プロジェクトの実施
- ・ 研究成果の社会実装を通じた起業家支援や実務的・実践的な貢献 など



▶ 直近のトピック

①公開セミナー「デザイン研究の新潮流 2025」
(2025年3月1日開催)



須永剛司氏
東京藝術大学名誉教授



西村啓太氏
(株)博報堂DYホールディングス
Human-Centered AI Institute室長補佐

デザイン研究の現在と将来を、先駆的な活動されているお二方をお招きした公開イベントを実施しました。

②『デザイン科学入門』監訳出版
(2025年7月11日発行)



本研究部門メンバーの飯島淳一客員教授とハ木澤優記准教授が、デザイン科学に関する代表的な書籍である本書を翻訳しました。

▶ 今後の展開

今後、SUTD（シンガポール工科デザイン大学）との連携をさらに深め、以下のような連携を重ねつつ、2026年度には本学とSUTDの共催で国際シンポジウムを開催予定です。

- ・ SUTDとの共同編著の書籍『The Power of Design and Convergence of AI』(Taylor Francis)の出版（2025年年末発行予定）
- ・ SUTD主催の公開イベント「Foresight Conference “Futures by Design: Human-Centered AI and Transformative Possibilities」への登壇（柿原、2025年10月3-4日開催）
- ・ 2026年度にTUS & SUTD共催で国際シンポジウムの開催（場所は本学を予定） など



【連絡先】 研究部門長
経営学部国際デザイン経営学科
柿原 正郎
masao.kakihara@rs.tus.ac.jp